

エステティック機器認証の 許諾に関する契約書

認証使用許諾者・特定非営利活動法人日本エステティック機構（以下「甲」という）と認証使用受諾者・ _____（以下「乙」という）は、甲の認証に基づく機器認証シール（認証番号 _____）の使用等に関し、次のとおり契約する。

第1条 用語の定義

この契約に関する基本的な用語の定義は以下のとおりとする。

(1) 機器

乙が製造又は販売するエステティック機器であって、この契約により認証の対象となるものをいう。

(2) 製造工場

製造する1つ又は複数の工場又は事業場で、当該認証に係わる機器の安全に関する試験及び検査システムの評価が必要とされる工場の総称をいう。

(3) 認証基準

甲が別途定める「エステティック機器認証制度」の「4. 認証基準及び認証の決定」における製品試験の「エステティック機器認証規格」及びシステム審査の「エステティック機器の安全性に関する試験及び検査システム認証書類審査規格」をいう。

(4) 認証

甲が、乙による認証申請のあった機器が、認証基準に適合していることを評価し、決定したことをいう。

(5) 認証書

機器が認証されていることを証明するために甲が発行した文書をいう。

(6) 認証機器

認証された機器をいう。

(7) 認証シール

認証シールとは、認証書が交付された事業者に対して、甲が発行し、認証機器に貼付することを認めたものをいう。

第2条 権利及び義務

1 乙による認証申請のあった機器は、エステティック機器認証規格及び細則に基づき、認証機器及び当該機器の安全性に関する試験及び検査システムの認証書類審査規格に適合していることが求められる。

甲は、機器が認証規格に適合し、乙が本契約書に合意、署名している場合には、乙の認証申請に基づいて認証書を発行する。機器が認証規格に適合し、本契約書の内容を履行している限りにおいて、乙が発行した認証書は有効であり、本契約に基づき認証シールの使用が甲により乙に許諾される。

- 2 甲が乙の認証機器及び当該機器の安全性に関する試験及び検査システムについて認証書類審査規格に適合していることを確認する際は、乙は協力しなければならない。
- 3 乙は、認証のための初回製品試験に供した機器(サンプル機器)と同一条件において、認証機器が製造されていることを確保しなければならない。
- 4 乙は、業態及び認証の範囲の追加・変更等、認証書の記載事項に変更が生じた場合は、甲に届出をしなければならない。その際、新規事業者として変更があったと認められた場合、認証は取り消される。甲は、当該届出に基づき、追加の製品試験及び「当該機器の安全性に関する試験及び検査システム書類審査」を必要とするか否かを決定し、その結果を乙に文書で回答しなければならない。

第3条 認証シール等の使用条件及び使用範囲

- 1 甲は、乙に対し、本契約書に規定される条件に基づき、本契約書第17条の規定による契約の有効期間中に限り、認証機器の本体、包装、容器等への認証シールの使用について許諾するものとする。
- 2 認証シールは、認証機器の本体、包装、容器等に表示する。
乙が当該認証機器に係わるパンフレット、カタログ(会社案内等を含む)に、認証シールを使用する場合には、当該認証機器に関する情報として表示しなければならないが、他の認証されていない機器があたかも認証されているような誤解を第三者に与えるような表示をしてはならない。
- 3 乙は、認証機器に認証シールを使用したときは、その数量及び時期を記録しなければならない。甲がその記録の提示を求めた時は、乙はこれに応じなければならない。

第4条 サンプル機器の提供

甲は、乙に対し、認証又は認証の維持のために試験又は検査の必要を認めた場合は、試験用機器を無償で甲又は甲が認定した試験機関(以下、試験機関という)に提供するように求めることができ、乙はこれに応じなければならない。また甲及び試験機関は、試験等によって生じた機器の解体及び損傷について、一切その責任を負わないものとする。

第5条 改善勧告

甲は、乙の認証機器又は当該機器が安全性に関する製品試験及びシステム審査において認証基準に適合しなかった場合は、乙に対し期限を定めて当該不適合の改善を指示することができる。なお期限までに改善がなされなかった場合、甲は、本契約書第18条第2項に基づき必要な措置を講じなければならない。

第6条 改善中の認証シール等の使用停止

前条の場合において、甲は、必要に応じて乙による改善措置が完了するまでの間、本契約で定める認証シールの使用停止を乙に指示することができる。

第7条 承継の禁止

認証に係わる事業の全部を甲が指定する第三者に譲渡するときは、別途甲が定める「エステティック機器認証制度」の「7. 認証の変更」に従って認証が取り消されるものとし、譲渡先に承継できないものとする。

第8条 試験等に際しての損害

甲は、製品試験及び「当該機器の安全性に関する試験及び検査システム書類審査」により乙に損害が生じた場合、甲の故意又は過失による場合を除き、その責任を負わないこととする。

第9条 第三者への業務委託

甲は、乙の同意を得ることなく認証業務の一部を第三者に委託することができる。

第10条 市場における買取調査

甲は、必要に応じて乙の当該機器について市場買取調査を行うことができる。

この調査に係る当該機器の買取費用と試験費用は乙の負担とする。

第11条 サーベイランス

1. 甲は、乙の認証機器に対して、本契約に基づいてサーベイランスを行なうものとする。定期的なサーベイランスは、認証機器の初回製品試験及び初回の当該機器の安全性に関する試験及び「当該機器の安全性に関する試験及び検査システム書類審査」の結果が引き続き維持されているかどうかを確認するものであり、乙が認証された日から起算して2年が経過する毎に行なうものとする。
2. 前項のサーベイランスの手順は、初回認証と同様、別途甲が定める「エステティック機器認証制度」の「5. 認証プロセス」に従って行なうものとする。
3. 甲は、次に掲げる一に該当する場合、乙に対して、臨時のサーベイランスを行なうことができる。なお、乙は臨時のサーベイランスに係る当該機器及び試験費用を負担しなければならない。
 - (1) 甲が乙の認証機器及び「当該機器の安全性に関する試験及び検査システム書類審査」について認証規格への不適合を認めた場合

- (2) 別途甲が定める「エステティック機器認証制度」の「7. 認証の変更」に従って、甲が追加の製品試験及び「当該機器の安全性に関する試験及び検査システム書類審査」を必要と決定した場合
- (3) 認証規格の変更により、乙の認証機器及び「当該機器の安全性に関する試験及び検査システム書類審査」が認証規格への適合性に影響すると甲が判断した場合
- (4) 乙の認証機器及び「当該機器の安全性に関する試験及び検査システム書類審査」が認証規格に適合していないとする第三者からの苦情を甲が受け、且つ、甲が必要と判断した場合
- (5) その他、甲が必要であると判断した場合

第12条 認証機器及び製造工場の試験及び検査システムの変更

1. 乙は、認証機器の仕様変更又は当該機器の安全性に関する試験及び検査システムの変更を行なうときは、甲に対して予め文書で通知しなければならない。甲は当該通知を受けたときは、臨時のサーベイランスが必要か否かを判断し、必要な措置を講じなければならない。
2. 乙は、業態及び認証の範囲の追加・変更等、認証書の記載事項に変更が生じた場合は、別途甲が定める「エステティック機器認証制度」の「7. 認証の変更」に従って、甲に届出なければならない。甲は、当該届出に基づき追加の製品試験及び「当該機器の安全性に関する試験及び検査システム書類審査」を必要とするか否かを決定し、その結果を乙に文書で通知する。

第13条 苦情への対応の記録

1. 乙は、第三者から認証機器に関する苦情の申し立てを受けた場合、具体的に調査・対応をしなければならない。また乙は、当該苦情の内容、処理の方法、苦情原因の解析、再発防止のための対応方法を記録に残さなければならない。
2. 甲から上記1.に関する報告の求めがあったときは、乙は当該記録を甲に提出しなければならない。
3. 甲が認証した認証機器に関する苦情の申し立てを第三者から甲が受けたときは、甲はこれを乙に通知するものとする。

第14条 苦情等への処理

1. 認証機器に関して、乙が第三者から苦情の申し立てを受けた場合又は乙と第三者との間において紛争が生じたときは、乙はその責任と負担において解決を図るものとする。
2. 前項の場合において、甲が第三者に対し損害賠償その他の負担をしたときは、甲は、乙に対して、損害賠償その他の負担につき求償することができるものとする。

第15条 認証の公表等

1. 甲は、甲のホームページにより、本契約に基づく認証を公表するものとする。
2. 乙は、認証されていない機器があたかも認証機器であるかのような公表をしてはならない。また認証に関し第三者に誤解を与えるような公表をしてはならない。

第16条 機密保持

甲及び甲が認証業務の一部を委託した第三者は、乙の認証に関連して知り得た認証機器に関する一切の情報を認証業務にのみ使用するものとし、他の目的に使用又は乙の承諾若しくは法令に基づく正当な理由なくして第三者に当該情報を漏えいしてはならない。ただし、本契約締結時に公知であった情報、契約締結後に甲の故意又は過失によらず公知になった情報及び甲が第三者から適法に取得した情報は除く。

第17条 契約期間の有効期間

本契約期間は、西暦 年 月 日から西暦 年 月 日までとする。

第18条 認証シールの使用の一時停止及び認証の取り消し

1. 乙が次の各号に掲げる事由の一に該当する場合、甲は乙に対して、認証シールの使用を一定期間停止させることができる。
 - (1) サーベイランスの結果として不適合があったが、その性質上、甲が即時取り消しを必要ではないと判断した場合
 - (2) 認証シールの使用方法に本契約書の条項違反があり、乙による速やかな是正処置ができない場合
 - (3) 本認証制度及び甲が定めた認証手順・基準・規定に対して関連する違反があった場合
 - (4) 一定期間の製造中止等の合理的理由により、認証機器の製造が行なわれない場合であって、甲と乙が合意した場合
2. 乙が次の各号に掲げる事由の一に該当する場合、又は、甲の改善勧告にもかかわらず乙に改善がなされないとき、若しくは、乙から甲に認証の取下げの申し入れがあったときは、甲は乙に対する認証を取り消すことができる。
 - (1) 乙から製造中止、その他の事由により認証の取り消し依頼があった場合
 - (2) 乙が整理、破産、倒産、譲渡、その他の事由により消滅した場合
 - (3) サーベイランスの結果として重大な不適合があった場合
 - (4) 乙が認証のために必要とされる費用を支払期日までに決済しない場合
 - (5) 認証シールの使用に係わる認証契約に対して違反がある場合
 - (6) 認証シールの使用の許諾が一時停止されている期間に、認証シールを使用する等不適切な手段を乙が講じた場合

(7) 別途定める罰則規定による認証取り消しが妥当と乙が判断した場合

第19条 契約の解除

1. 乙は、甲に対し、書面で通知することにより、本契約を解除することができる。この場合、本契約は、乙からの書面による通知が甲に送達された日から30日を経過した日をもって終了する。
2. 甲は、乙に対し、次の各号の一に該当する事由が生じたときは、本契約を解除することができる。
 - (1) 本契約書第18条第2項の規定に基づき甲が乙の認証を取り消したとき
 - (2) 乙に甲に対する信用毀損その他甲との間の信頼関係を破壊する行為があったとき
 - (3) 乙が支払いの停止又は破産宣言、特別清算、和議、会社整理若しくは会社更生の申し立てを受け又は自らが申したとき
 - (4) 乙が認証シールの偽造・改ざん等の不正行為があったとき。

第20条 不可抗力による契約の終了

天変地変その他の不可効力により甲の認証業務の遂行が不可能となったときは、この契約は当然に終了する。

第21条 認証シール等の抹消等

本契約書第18条第2項の規定により認証の取り消しがあったとき、又は、第19条若しくは前条の規定によりこの契約が解除若しくは終了したときは、乙は、認証シールを使用することはできず、既に認証シールを表示した機器等から認証シールの表示を除去若しくは抹消しなければならない。

第22条 認証規格の変更

1. 甲は、認証規格の変更が行なわれる場合、乙に対し、その旨の通知をしなければならない。なお甲は、必要であると判断した場合、十分な期間を設けて、当該改正、変更に伴う必要な措置を通知することができる。
2. 乙は、甲から認証規格の変更について通知を受けたときは、当該通知に従って必要な措置をとらなければならない。

第23条 補償

以下の事由により甲がクレーム、訴訟、損害賠償等の責任を問われた場合、乙は、甲の支払う全ての費用を負担する。

- (1) 甲が発行した認証書、認証シール等について、乙による誤った使用及び不正な使用があった場合

- (2) 乙による本契約書に規定する事項に違反する行為
- (3) その他、乙に責任のある行為

第24条 甲の責任限度

甲が負担する責任の限度は、甲の故意または重大な過失による場合を除き、甲が認証に係る費用として受取った金額の範囲内とする。

第25条 本契約に定めていない事項

本契約で定められていない事項に関して甲乙間にて疑義を生じた場合は、乙の事情を考慮し、甲が適宜決定するものとする。

第26条 その他

この契約締結の証として本契約書を2通作成し、甲、乙各自記名捺印のうえそれぞれ1通を保有する。

契約締結日：西暦 年 月 日

甲： 東京都千代田区一番町25番地 JCII ビル5F

特定非営利活動法人日本エステティック機構

理事長 福士 政広 (印)

乙： 所在地

会社名

代表者名 (印)